

茨城県総合計画「答申(案)」の概要

計画名称

茨城県総合計画『いばらき未来共創プラン』

【第1部 基本構想】(2050年頃を展望)

第1章 時代の潮流と茨城の特性等

第1項 時代の潮流(県民が一体となって対応すべき重要な視点)

- 急激な人口減少と超高齢化の進行
- 社会経済のグローバル化と交流の拡大
- 大規模自然災害の切迫とインフラの老朽化
- 資源・エネルギーの制約や地球環境問題の深刻化
- 情報通信技術(ICT)等の劇的な進歩
- 生活の安全と安心を求める意識の高まり
- 価値観の変化とライフスタイルの多様化
- 女性が活躍する社会づくりの要請
- 地方分権改革及び広域行政の進展
- 東京オリンピック・パラリンピック及び茨城国体の開催

第2項 茨城の特性

- 恵まれた地理的・文化的な特性
- 多様な産業と科学技術の集積
- 国内外を結ぶ広域交通ネットワークの形成

第3項 これまでの取組

- 昭和36年に「後進県からの脱却」を掲げ、初めての総合計画を策定
- 鹿島地区の開発、筑波研究学園都市の建設などの大規模開発
- 高速道路、つくばエクスプレス、茨城港、茨城空港などの発展基盤の整備
- 県民所得の大幅な上昇、我が国有数の実力を備えた県として発展

第2章 いばらきの目指す姿

第1項 基本理念

『みんなで創る 人が輝く 元気で住みよい いばらき』

～ 生活と産業の未来を拓く新たな価値の創造 ～

- 人口減少社会の中であっても、安全・安心、快適な生活環境のもとで、雇用がしっかりと確保され、誰もが個性や能力を発揮しながら主体的にいきいきと活躍することができる「人が輝く元気で住みよい いばらき」を創造していきます。
- 県はもとより、県民や市町村、企業、大学・研究機関、NPOなど、みんなが連携・協働し、生活や産業など様々な分野において、社会的意義のある新たな価値を生み出すイノベーションを創出することにより、日本や世界の発展に貢献していきます。

第2項 県民の求める『いばらき』

県民選好度調査、大学・高校生アンケート等(約5,000人) / 市町村意向調査(県内全市町村)等

第3項 目標と将来像

『人が輝く いばらき』

【将来像】

- 学校・家庭・地域が連携して、自主性・自立性に富み、確かな学力・豊かな心・健やかな体のバランスのとれた子どもたちを育てています。
- 郷土を愛し、様々な知識や能力を身に付けた人材が、地域をしっかりと支えながら、世界を舞台に活躍しています。
- 互いに違いを認め合い、一人ひとりが尊重されて、誰もがいきいきと活躍している社会が形成されています。
- 生涯にわたって学び続けられる環境が整備されるとともに、文化・スポーツなどを通じて、誰もが健康で明るく心豊かな人生を送ることができています。

『活力ある いばらき』

【将来像】

- 科学技術研究の進展や異分野・異業種間ネットワークの活性化等により様々なイノベーションが絶え間なく生まれており、日本の経済をリードする新技術・新産業の創出に繋がっています。
- 企業立地が一層進むとともに、ものづくり産業の高付加価値化、商業・サービス産業の育成などにより、持続的に雇用を生み出す産業が育っています。
- 農林水産業の6次産業化や輸出の促進などにより高い収益性が確保され、意欲ある担い手による魅力ある農林水産業が育っています。
- いばらきの魅力や価値が国内外から広く認められ、人・もの・情報といった多様な交流が盛んな社会が形成されています。

『住みよい いばらき』

【将来像】

- ICTなどの技術も活かしながら、誰もが適切な医療・保健・福祉サービスが受けられる環境が整うとともに、結婚・出産・子育ての一貫したサポート体制が充実した社会づくりが進んでいます。
- 地域社会とのつながりが保たれたまちで、誰もがやさしさと潤いを感じながら快適な日常生活を送っています。
- 大規模災害や犯罪、原子力災害などに対する生活の安全がしっかりと確保され、安心して暮らし続けられる社会が形成されています。
- 豊かな自然を守り、上手に活かしながら、人と自然が共生する生活を送っています。

生活と産業の未来を拓く『イノベーション大県いばらき』

【将来像】

- 医療や福祉、教育や文化、環境など様々な分野において、人口減少・超高齢化社会の到来など社会経済情勢の変化に的確に対応したイノベーションが創出され、安全・安心で質の高い暮らしが営まれています。
- 最先端科学技術や高度なものづくり産業の集積、さらには農林水産物をはじめとする本県の際立った強みを活かして、未来を支え切り拓く産業が創出されるなど、郷土いばらきの飛躍はもとより、日本や世界の発展に貢献しています。

第4項 人口・経済の展望

【人口の展望】平成37(2025)年には概ね280~281万人程度、平成62(2050)年には概ね239~252万人程度になると見込まれます。

【経済の展望】平成37(2025)年までの年平均で実質経済成長率は2.0%程度、名目経済成長率は3.0%程度になると見込まれます。

第3章 計画推進の基本姿勢

県民総参加のいばらきづくり / 地域資源の活用・発掘と情報発信 / 広域連携と権限移譲 / 適切な進行管理と行財政改革の推進 / 部門別計画との役割分担

【第2部 基本計画】(5年間/H28(2016)~32(2020)年度)

第1章 政策展開の基本方向

3つの目標に対応する施策及び主な取組を12の政策分野に体系的に整理して示します。

1 「人が輝く いばらき」づくり

(1) 自主性・自立性を身に付け 生きる力を育む教育の推進

- ① 確かな学力の習得と活用する力の育成
- ② 豊かな心と健やかな体を育み自立した人を育てる教育の推進
- ③ 安全・安心で時代の変化に対応した魅力ある学校づくり
- ④ 家庭・地域の教育力の向上と学校との連携

(2) 地域と世界の未来を拓く人材の育成

- ① 自己実現を図るためのキャリア支援の充実
- ② 地域を知り世界を志向する人材の育成
- ③ 地域力を高める人材の育成
- ④ 様々な分野をリードするスペシャリストの育成

(3) 一人ひとりが尊重され活躍できる社会づくり

- ① 人権を尊重し多様性を認め合う社会づくり
- ② 女性がいいきと活躍できる社会づくり
- ③ 青少年・若者の挑戦を支える社会づくり
- ④ 高齢者の知識・経験・技能を活かす社会づくり
- ⑤ 障害者の自立と参加を促進する社会づくり

(4) 生涯にわたって学び合う環境づくりと文化・スポーツの振興

- ① 芸術や伝統文化に親しむ環境づくり
- ② 新たなクリエイティブ活動への支援
- ③ 茨城国体の成功とスポーツに親しむ環境づくり
- ④ 生涯にわたって学び続けることができる環境づくり

2 「活力ある いばらき」づくり

(1) 科学技術を活かしたイノベーションの推進

- ① 未来の産業を担う人づくりとイノベーションの活性化
- ② 革新的医療技術・ロボット等の実用化
- ③ 持続可能な環境・エネルギーを実現する技術開発
- ④ 新たな製造・生産技術の開発

(2) 日本の発展をリードする力強い産業づくり

- ① 産業拠点の競争力強化と企業立地の促進
- ② 次代を創る革新的産業の育成
- ③ 高付加価値を生み出すものづくり産業の育成
- ④ 時代の変化に適応した商業・サービス産業の育成
- ⑤ 中小企業の経営革新と経営力の強化
- ⑥ 希望に応じた雇用・就業環境の整備

(3) 農林水産業の成長産業化

- ① 安全・安心で高品質な農産物を安定供給できる産地づくり
- ② 6次産業化・輸出の促進などを通じた高付加価値化と需要開拓
- ③ 産地や地域を支える意欲ある担い手づくり
- ④ 県産木材の利用促進と林業・木材産業の振興
- ⑤ 力強い水産業の確立と水産物の安定供給
- ⑥ 美しく元気な農山漁村づくり

(4) 人・もの・情報が活発に行き交う交流社会づくり

- ① 個性を活かした魅力ある地域づくりと国内外から選ばれる観光の推進
- ② 広域交通ネットワークの充実と効率的な物流体系の構築
- ③ IT・データの活用による情報交流社会の構築
- ④ 対日投資の県内誘致

3 「住みよい いばらき」づくり

(1) 少子高齢化に対応した医療・保健・福祉が充実した社会づくり

- ① 安心して結婚・出産・子育てができる社会づくり
- ② 高齢者が安心して暮らせる社会づくり
- ③ 障害者が安心して暮らせる生活環境の充実
- ④ 安心できる医療体制の充実
- ⑤ 安心な暮らしを支える医療・保健・福祉サービスの提供
- ⑥ 生涯にわたる健康づくり

(2) 人にやさしい快適な生活環境づくり

- ① 人口減少社会に対応した生活基盤の確保
- ② みんなが住みたくなる潤いのあるまちづくり
- ③ ともに助け合う社会づくり
- ④ 快適な生活衛生環境の確保

(3) 安全・安心な暮らしが確保された社会づくり

- ① 災害に備えた強靱な県土づくりと防災・危機管理体制の強化
- ② 原子力安全対策の徹底
- ③ 犯罪に強い社会づくり
- ④ 消費生活と食の安全確保
- ⑤ 交通安全対策の強化

(4) 人と自然が共生する持続可能な環境づくり

- ① 地球温暖化対策の推進
- ② 資源を活かす循環型社会づくり
- ③ 霞ヶ浦・涸沼などの湖沼環境や豊かな森林の保全と活用
- ④ 生活に身近な自然環境の保全と活用

第2章 地域づくりの基本方向

各地域において重点的に取り組むべき地域づくりの基本方向を示します。

1 目指すべき地域の姿

様々な主体との連携のもと、一人ひとりが生きがい・充実を感じて豊かな生活を送ることができるとともに、東京圏などの都市住民の「地域志向」にも対応した地域

2 地域づくりを推進していくための視点

- (1) 新しい「協働」による地域づくり
- (2) 愛着や誇りの持てる地域づくり
- (3) 地域間連携と広域的な視点に立った地域づくり

3 地域区分

6つの地域に区分、弾力的なゾーン設定を継承。  
\* 県北山間/県北臨海/県央/鹿行/県南/県西

4 各ゾーンの将来像と主な取組

(ゾーン毎に2050年頃を展望した将来像を新たに記載。)

5 ゾーンを横断する取組

ゾーンを横断する広域的な取組を新たに記載。

【具体的な事例】

- ・筑波山・霞ヶ浦周辺エリアのサイクリング環境整備
- ・首都圏中央連絡自動車道や北関東自動車道沿線の市町村の連携による産業集積及び交流の促進
- ・KENPOKU ART2016 茨城県北芸術祭、アーカスプロジェクトなど現代アートを活用した地域づくり など

(1) 県北山間ゾーン

○将来像 ・地域の特性を活かした農林畜産物の独自ブランドが確立され、充実した生活支援サービスなどにより自立した中山間地域  
・広域交通網が整備され、豊かな自然環境を活かし都市と農村との観光・交流が活発な魅力ある地域

○主な取組 農林畜産物のブランド力強化、移住・二地域居住等の推進、教育・研修旅行やアウトドアスポーツの推進 など

(2) 県北臨海ゾーン

○将来像 ・産業集積が進展し、付加価値の高い産業が発展した新たなビジネス拠点  
・芸術、伝統、自然環境等を活かした観光・交流が活発なゆとりと潤いのある空間

○主な取組 クリエイティブ企業の誘致やグローバルニッチトップ企業の育成、国道6号バイパス整備等地域交通インフラの充実、芸術活動の充実 など

(3) 県央ゾーン

○将来像 ・首都圏における国内外の玄関口として形成された中核的都市圏及び産業集積拠点  
・北関東随一の広域観光・レクリエーション地域

○主な取組 定住自立圏の形成促進、交通の要衝であることを活かした産業拠点づくり、歴史や文化、景観等を活かした観光・レクリエーション地域の形成 など

(4) 鹿行ゾーン

○将来像 ・数多くの農林水産物などの一大食料供給基地と、鹿島臨海工業地帯を核とした国際競争力のある産業拠点  
・公共交通など生活環境が充実し、700-700-700を核とした交流が活発な地域

○主な取組 メロン等特産品のブランド化と6次産業化の促進、鹿島臨海工業地帯を中心とする産業拠点の形成、700-700-700を核とした交流を活かした観光の推進 など

(5) 県南ゾーン

○将来像 ・新事業・新産業が創出され、科学技術が日常生活に溶け込んだ快適な都市空間  
・特色ある農業が展開されて自然と都市が調和した魅力的な生活環境と、東京圏と結びついた国際交流空間

○主な取組 産学官連携の促進、ベンチャー企業の育成、農商工観光連携による都市農村交流、MICE 誘致 など

(6) 県西ゾーン

○将来像 ・自動車関連産業等の一大拠点と大規模園芸、地場産業がさらによく発展した経済圏  
・広域交通網の充実による東京圏との連携強化や、歴史や伝統文化の中で形成されたゆとりと潤いある生活・交流空間

○主な取組 圏央道IC周辺等の開発促進、農作物の海外展開促進、歴史的街並み等を活用した観光・交流 など

【第3部 重点プロジェクト】（5年間／H28(2016)～32(2020)年度）

重点プロジェクト

分野横断的に優先して取り組むべき12テーマについて、「重点プロジェクト」を設定し、本県の実情・優位性を最大限に活用しながら、積極的に課題の解決を図ります。

重点プロジェクト 1

ストップ少子化・移住促進 PJ

- 〔主な取組〕
- ① 結婚支援の充実 ◎
  - ② 妊娠・出産・子育て支援の充実 ◎
  - ③ 待機児童の解消と保育サービスの充実 ◎
  - ④ 若い世代の経済的安定 ◎
  - ⑤ 情報発信の強化とイメージアップ ◎
  - ⑥ 本県へのU・I・Jターン促進 ◎
  - ⑦ 移住・二地域居住の促進 ◎

重点プロジェクト 2

いきいき健康長寿社会創造 PJ

- 〔主な取組〕
- ① 生活習慣病の予防対策の充実
  - ② 介護予防と健康づくり ◎
  - ③ 総合的なながい対策の推進
  - ④ 茨城県地域包括ケアシステムの推進 ◎
  - ⑤ 医療・福祉分野における人材の育成・確保 ◎
  - ⑥ 医療・介護機器の開発・実用化 ◎

重点プロジェクト 3

未来を拓く子ども・若者育成 PJ

- 〔主な取組〕
- ① 確かな学力を身に付ける教育の充実
  - ② 豊かな人間性を育む教育の推進
  - ③ 科学技術を担う人材育成 ◎
  - ④ 郷土を愛する心の醸成 ◎
  - ⑤ 青少年・若者の社会参画支援 ◎
  - ⑥ 自己実現を支援するキャリア教育の充実 ◎
  - ⑦ 新分野を切り拓く起業家の育成 ◎
  - ⑧ 貧困の連鎖の防止 ◎

重点プロジェクト 4

みんなが活躍できる環境づくり PJ

- 〔主な取組〕
- ① 女性の能力を発揮できる環境整備 ◎
  - ② 女性のキャリアアップ支援 ◎
  - ③ 仕事と生活の調和（ワークライフバランス）の推進 ◎
  - ④ 再チャレンジできる環境整備 ◎
  - ⑤ 高齢者の活躍の場の拡大 ◎
  - ⑥ 障害者の自立と社会参加の促進 ◎
  - ⑦ ダイバーシティ社会の構築
  - ⑧ ユニバーサルデザインの推進

重点プロジェクト 5

みんなで守る、暮らしの安全・安心 PJ

- 〔主な取組〕
- ① 地域防災力の強化と防災教育の充実 ◎
  - ② 災害に強い県土づくりの推進
  - ③ 防犯対策の充実
  - ④ 交通安全対策の充実
  - ⑤ 原子力安全対策の強化
  - ⑥ 食の安全・安心の確保
  - ⑦ 安全・安心に住み続けられる地域づくり ◎
  - ⑧ 地域公共交通の充実 ◎

重点プロジェクト 6

次世代に繋ぐ美しく豊かな環境 PJ

- 〔主な取組〕
- ① 水素エネルギーの利活用と再生可能エネルギーの導入促進 ◎
  - ② エネルギー分野における技術開発と実用化促進 ◎
  - ③ 森林湖沼環境保全対策の推進
  - ④ 生物多様性の保全と持続可能な利用
  - ⑤ 地域の自然環境教育の推進
  - ⑥ 農山漁村の景観、自然環境の利活用

重点プロジェクト 7

未来を創る産業イノベーション創出 PJ

- 〔主な取組〕
- ① 科学技術を活用した未来産業の創出 ◎
  - ② ロボット産業の育成と社会へのロボットの普及 ◎
  - ③ 中小企業の経営革新支援 ◎
  - ④ サービス産業の生産性向上 ◎
  - ⑤ 企業誘致の強化 ◎
  - ⑥ イノベーションを創出する人材の育成 ◎
  - ⑦ 付加価値の高い産業創出 ◎
  - ⑧ 雇用の安定・確保 ◎

重点プロジェクト 8

攻めのいばらき農業推進 PJ

- 〔主な取組〕
- ① いばらき農産物のブランド力強化 ◎
  - ② 6次産業化・農商工連携の促進 ◎
  - ③ 農林水産物の海外販路拡大 ◎
  - ④ 産学官連携によるアグリビジネスの展開
  - ⑤ 農業を支える担い手の確保・育成 ◎
  - ⑥ 「茨城をたべよう運動」の推進 ◎

重点プロジェクト 9

世界に開かれたいばらきづくり PJ

- 〔主な取組〕
- ① 国際社会で活躍できる人材の育成 ◎
  - ② 農林水産物の海外展開支援 ◎
  - ③ 中小企業の海外展開支援 ◎
  - ④ 外国人が活躍しやすい環境整備
  - ⑤ 対日投資・国際会議の県内誘致 ◎
  - ⑥ 国際観光の推進 ◎
  - ⑦ 茨城空港への国際線の誘致 ◎
  - ⑧ 国際物流の拡大に向けた港湾機能強化

重点プロジェクト 10

観光おもてなし日本一 PJ

- 〔主な取組〕
- ① おもてなし日本一を目指した体制整備 ◎
  - ② 国内外に誇れるおみやげづくり ◎
  - ③ 広域観光の促進 ◎
  - ④ 広域的な交通網の整備
  - ⑤ 茨城空港の機能充実・強化 ◎
  - ⑥ 安全かつ快適な観光空間の提供
  - ⑦ 水郷筑波サイクリング環境整備 ◎
  - ⑧ 湖沼の利活用の推進

重点プロジェクト 11

魅力あふれる県北地域創造 PJ

- 〔主な取組〕
- ① KENPOKU ART 2016 茨城県北芸術祭の成功と活用 ◎
  - ② 国内外への情報発信の強化 ◎
  - ③ 公共交通の維持と生活交通環境の充実 ◎
  - ④ 地域資源の発掘と都市農村交流の拡大 ◎
  - ⑤ ICTを活用した新ビジネスや多様な就業機会の創出 ◎
  - ⑥ 空き家・廃校等を活用したまちづくり ◎
  - ⑦ 林業・木材産業の振興

重点プロジェクト 12

茨城国体 東京リビ'ツクハ'リビ'ツクゆめ実現 PJ

- 〔主な取組〕
- ① 選手の強化・育成 ◎
  - ② 健やかな体づくりとスポーツの普及
  - ③ オリンピック・ムーブメントの推進 ◎
  - ④ 「茨城の魅力」の世界への発信 ◎
  - ⑤ 大会観戦者等の受入体制の整備 ◎
  - ⑥ 国体運営ボランティア等の育成 ◎
  - ⑦ 文化プログラムの推進 ◎
  - ⑧ 共生社会に向けた障害者スポーツの振興 ◎

※ ◎は、茨城県まち・ひと・しごと創生総合戦略と関連する取組。